

二市連携 I C T 活用保育事業について

1. 事業の概要

岐阜県美濃加茂市と連携し、保育に I C T（情報通信技術）を活用しようとするものです。具体的には、保育士の園児に対する「気づき」を見える化・データ化するための「保育状態把握システム（以下、システムという）」を開発・導入し、地域性の異なる二市が連携することで、システムの有効性を実証する取り組みです。

2. 目的

システムで得られたデータを活用して、子どもの状況について保育士同士で話し合い、情報共有することで、保育の充実や保育士のスキルアップに繋げることを目的とします。

3. 対象園及び対象児童

(1) 対象園

米子市：公立保育園 2 園（東保育園・淀江保育園）

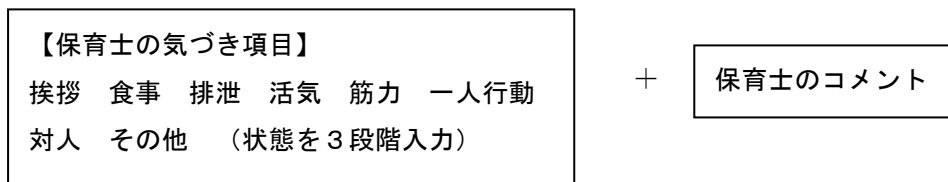
私立保育園等 2 園（キッズタウンかみごとう・キッズタウンさくら）

(2) 対象児童

各園 3 歳児、4 歳児、5 歳児クラスの園児

4. 内 容

日々の保育の中で、保育士がそれぞれの子どもについて気づいたことを、保育に支障のない時間に、システム専用のスマートフォンやタブレットに入力します。



↓ ↓ ↓

入力した情報をデータ化し、目で見えて活用できる状態にします。

↓ ↓ ↓

職員会等の保育士の話し合いの場で、情報共有、保育の振り返り、今後の子どもとの関わりなどにデータを活用します。

↓ ↓ ↓

データの活用で保育の充実や保育士のスキルアップに繋がります。

5. 実施結果

(1) 平成28年度

システム開発（状況把握プログラム）及び実証実験を実施しました。

(2) 平成29年度

前年度に行った実証実験をベースに、データの蓄積とデータ活用の深化及び拡大を目指して実施しました。

(3) 平成30年度

将来的な状態把握プログラムの自立運用に道筋をつけるため、活用の定着及び深化を図るとともに「活用のためのガイドライン」を作成しました。

年 月	内 容
平成30年5月	実施園との会議、MIMOTEへの入力、活用開始（～3月末）
平成30年7月	フィードバック会議（ガイドライン作成のためのワーク）
平成30年8月	実施園との会議
平成30年10月	フィードバック会議
平成30年11月	広域連携会議（米子市・美濃加茂市）
平成31年2月	実施園との会議
平成31年3月	事業終了

※ 一般社団法人気づきデータ解析研究所とりまとめの最終報告書及び「活用のガイドライン」は別紙のとおり。

6. 平成31年度事実施計画

平成30年度に作成した「活用のためのガイドライン」に基づく運用を行い、さらなる保育現場での状態把握プログラムの活用の定着及び深化を図るとともに、保育版状態把握プログラムの普及や現在の取組内容、目的を保護者に限らず、広く周知するための普及展開活動を実施する。

スケジュール（予定）

年 月	内 容
令和元年6月	実施園との会議、MIMOTEへの入力、活用開始（～3月末）
令和元年7月	フィードバック会議（月1回程度）
令和元年10月	広域連携会議①
令和2年3月	広域連携会議②、普及展開活動、事業終了